

生活のあらゆる場面であつたらいいな、を全力サポート!!

かしよのゆめ かわらばん

Kasho-no-Yume Kawaraban

vol.
28

January
2026

take
free

無料

Kata-no-ha

令和八年
年頭にあたり

株式会社かしよのゆめ 代表ご挨拶

コラム

行政書士・ビジネスコーディネーター

伊藤桂子先生のほっとコラム

「冬来たりなば 春遠からじ…」



<http://kashonoyume.jp/> 日々の暮らしをより快適に。かしよのゆめがお届けするフリーペーパー

2026年1月[睦月] 第28号



生活のあらゆる場面で「あつたらいいな」を全力サポート!!

「かしよのゆめ」ができること

私達为您提供するサービス内容はお客様各々の事情によって変化します。生活を営む中で、もしかしたら家族には「頼みにくい」「申し訳ない」と思う事柄が出来るかもしれません。そんなご依頼が私達の得意分野です。家庭生活に関わる全ての悩み事をご相談ください。精一杯お客様のご満足を追求めします。

▶生活支援事業

様々な支援業務を通じて、あらゆる場面で生活をサポートいたします。
〈主な支援内容〉
・炊事・洗濯・清掃・買い出し・送迎・付添(病院、理美容院、娯楽、他)
・お墓参り代行
・見守り親孝行代行 他

▶遺品整理事業

遺品の整理、荷物の運搬や処分、家屋の清掃と家具類の整理、また貴重品捜索と不用品処理作業・各部屋・各箇所の清掃業務等、時間と手間がかかる遺品整理を懇切丁寧に行います。形見の品や貴重品を配送手配のサービスも実施しています。

▶生前整理・住空間整理事業

ご年配の方が施設や病院に移られるなどの場合、空き家となるご自宅の部屋にある家財道具や備品類を整理致します。ご本人のご家族やご親戚がご高齢の場合や遠方に居住しておられる場合でも安心してお任せいただけます。

▶リサイクル事業

生活の中で不要になった品物を有効活用し、新たな価値を見出します。(どんなものでもご相談ください)

不用品買取を
LINEで査定

▶引越し事業

「小さな引越し」で荷物一個からのお引越し。近距離・小規模の荷物移動を承ります。お気軽にご相談ください。

小さな
引越し

▶空き家管理事業

短期間の空き家・売買予定の空き家・お家の状態・ご希望によってご提案致します。

▶出張美容サービス事業

美容師の国家資格を持ったプロのスタッフが、様々なご事情によってご自身で美容院に行くことが出来ない方を対象に、介護施設、高齢者施設、障害者施設等にお伺いし、カットを中心に男性女性問わず美容サービスを提供させていただきます。

▶終活支援サービス事業

任意後見人制度の活用や、生前整理専門スタッフ・行政書士・司法書士・弁護士との連携を通してお客様の終活をきめ細やかにフォローいたします。

終活のススメ

※上記以外にも、サービスプランを多数ご用意いたしております。ご要望やご予算に合わせた最適なプランをご提案させていただきます。 ※サービス料金はサービスプランにより異なります。 ※詳しくは下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

各サービス・求人についてのお問い合わせ・ご連絡は

株式会社かしよのゆめ

<http://kashonoyume.jp/>

石巻本社 問合せ・連絡先

〒986-0881 石巻市明神南9番地4
FAX 0225-95-0080(本社・仙台営業所共通)

お電話 ☎0225-95-0070

メール info@kashonoyume.jp

仙台営業所 問合せ・連絡先

〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-2-15
ソララプラザ3F SPACES仙台南

お電話 ☎080-9071-0086

メール sendai@kashonoyume.jp

LINE



人形供養

大切にしてきた人形へ、感謝の気持ちを込めて。「人形供養祭」では、想いを静かに手放し、心を整えるひとときをお届けします。

募集期間 2026年2月9日(日)～18日(木)の平日 受付時間 9:00～16:00

法要 2月19日(金)(予定)

対象 日本人形、ひな人形などの人形全般(ガラスケースなどは別途有料対応)

受付方法 本社事務所へ直接持ち込みください。

料金 人形本体は無料

※ガラスケースやひな壇などの付属品は+1,100円(税込)



ホームページリニューアル
しました。QRコードはこちらから
<https://kashonoyume.jp/>



Staff profile スタッフプロフィール



name 永沼 和樹

Kazuki Naganuma

age 37

join 2025.9

hobby 生成AI

birthplace 石巻市

日々、知識を深められるよう業務に取り組んで参りますので、ご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。一日を大切に、早く戦力になれるよう頑張ります。

編集後記

この度、9月より入社致しました、永沼和樹と申します。お客様の気持ちに寄り添い、整理・運搬・生活支援、すべての業務をひとつひとつ丁寧に行うよう心掛けていきます。お客様にご納得頂き、「依頼して本当に良かった」と感じていただけるよう精一杯頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

〈今号の担当〉かしよのゆめ 永沼 和樹

令和八年 年頭にあたり

株式会社かしのゆめ 代表ご挨拶



(株)かしのゆめ 代表取締役 小野寺 晴彦

HARUHIKO ONODERA

1957年生 石巻市南浜町出身
1982年 協業組合 石巻廃棄物処理センターに入組
2014年6月、同組合専務理事就任
遺品整理かしのゆめ事業を発足
2019年10月、株式会社かしのゆめ設立に伴い、代表取締役となる。

ビスとなりました。外出が難しい方々が身だしなみを整えることは、その人らしく過ごすための大切な支えです。今年はこの領域をさらに発展させ、生活の中に小さな喜びを届けてまいります。

さらに今年は、人形供養・印鑑供養・写真供養・針供養等の供養事業にもより本格的に取り組みます。大切にしていたきた物に宿る思いに寄り添い、丁寧に供養すること、心の整理を支えることも総合生活支援の大切な役割です。安心して任せていただける環境づくりを進めてまいります。

そして最後に、今年の総仕上げとして、更に多くのお客様との関係構築とニーズの掘り起こしを積極的に行います。支援の存在を知らず困難を抱えている方、相談に踏み出せない方はまだまだ多くいらっしゃいます。丁寧な発信、対話、訪問を通じて声なきニーズを拾い上げ、地域の安心につなげてまいります。

本年も、石巻の暮らしに寄り添い、皆さまの安心と笑顔のそばに立ち続けられるよう、誠実に取り組んでまいります。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

き、福祉相談、さらに弁護士・司法書士との連携など、生活全般を包括する支援が必要とされています。私たちはこれらをワンストップで担える体制を強化し、「どこに相談すればよいかわからない」という不安を減らしてまいります。

また、昨年大きく進化した理容・美容サービスも、今年の柱の一つです。訪問美容を進化させ、理容・美容の両面で対応できるようになったことで、これまで以上に多くの方に満足いただけるサービス。

切にするのが、より身の回りのより身近な存在として地域に寄り添うことです。大小問わず、日々の不安や迷いに耳を傾けることで、地域に「相談のハードルが低い企業」として存在できると考えております。身近さを磨くことは、総合支援の質を高める土台でもあります。

そのうえで、今年は一人暮らしの高齢者への総合支援を重点的に進めます。単身高齢者は増加傾向にあり、見守り、通院付き添い、生活支援に加え、住宅確保、行政手続

岐にわたる事業展開と体制づくりを重点に進めてまいります。生活の困りごとは、住宅、福祉、生活、法務など複数の領域が複雑に絡み合うことが多く、単独の支援では解決に至らないケースも増えています。そのため、私たちは事業の幅を広げながら、それらを有機的に結びつけ、より迅速で的確な支援を行える総合体制を整える必要があります。事業拡大ではなく、総合力の強化こそが今年の大きなテーマです。

また、私たちが変わらず大

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、株式会社かしのゆめに温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、地域の皆さまから「まず相談してみよう」と声をかけていただく場面が増え、生活の総合支援を掲げる私たちの姿勢が石巻の中に浸透し始めた一年でした。地域にとって必要な存在でありたいという思いが確かな手応えとなり、大きな励みとなりました。

今年は、これまで以上に多

「冬来たりなば 春遠からじ…」

行政書士・ビジネスコーディネーター
伊藤桂子先生のほっとコラム

皆

様、明けましておめでとうございます。

先日、忙殺スケジュールの中で、桃山時代の画家・長谷川等伯の「松林図（しょうりんず）屏風（びょうぶ）」を見て来ました。

名作の呼び声高い国宝ですが、実はこの絵の大半は余白が占めています。

空白の空間があることで、描かれている絵がよりイキイキと見えて、現実を超えた次元にまで、見る人を誘い込んでくれます。

このように、小さな空間や限られた視界といったものを、より広げてくれるのが、余白のもつすごい力なのでしょう。

毎日バタバタしている私の生活では、暮らしの中に余白を生み出すような心がけねばならないなあ。などと考えました。

余白を生み出すというのは、「ギューギュー詰め」のスケジュールではなく、ゆとり、いわゆる「余白」の時



間をつくり、心を落ち着けてみるということ。

何にもしない時間は、物事が思いどおりに行かない時、少しだけ距離をとることにになり、それで事態が好転することもあるのです。

さて、皆様はこの冬いかがおすごしでしょうか。

私は「寄る年波」で年々寒さがいやでいやでたまりません。ホッカイロと厚手のくつ下は必需品です。

季節としての冬の寒さはなんとかなりますが、人生

の冬は大変ですよ。そうですね。そうです。人生にも冬があります。こればかりは、暖房器具で暖めることができない寒さであり、つらいものです。

人生の冬をのりきるには、遠ざけようとしなくて、むしろすすんでその事に向き合い、冬の間は冬を生きるのが一番かもしれない。

すると必ず、春が来ます。つまり、苦しいことと一体となり、苦しみ身をさいなませるのではなく、苦しみを我がものにしてしまふこと。

この世の中で「変え得るものに対しては、変える勇氣を持ち、変え得ないものに対しては、受け入れる心の静けさを保ち、この両者を見分ける英知を絶えず求めよ」とアメリカの神学者の方も言っています。

冬が来たら冬をありがたくいただくこと、大切なことですね。



行政書士・ビジネスコーディネーター
伊藤 桂子 (かしのゆめ顧問)
石巻市桃生町在住。
行政書士、保護司
ビジネスコーディネーター
終活セミナー講師
好きな物…和菓子、お茶、古物

そして、冬の季節の次は春です。

♪あなたという名の春が来た♪

という歌もあります。

そこで一言

「古い枯れた オレにも もいちど 春よこい」

そして後期高齢者の皆様へ応援の一句

「我が手帳 高貴高齢と書きなます」

おそまつ